

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671400150
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひまわり苑
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1番地240 (電話) 0994-32-616
自己評価作成日	令和4年2月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・事業所は海沿いに面しており、錦江湾、桜島を一望できる景色の良い事業所であること。
 ・大きな畑が2つあり、季節の野菜を栽培、収穫でき入居者様にも楽しんで頂ける環境であること。
 ・事業所理念である「ゆったり、楽しく、自由に、自分らしく暮らせる環境を目指す」ことを念頭に、入居者お一人お一人にあわせて、ご本人主役の生活支援に心がけている。
 ・母体がクリニックであるため、医療面においても迅速な対応が可能であること。
 ・職員の年齢層も幅広いが、思ったことはしっかり言い合える環境であるため、チームワークや協力体制も良好であること。
 ・法人が運営している「介護職員初任者研修」「実務者研修」もあることから、資格取得までの環境も充実しており、職員のスキルアップしやすい環境である。
 ・認知症介護実践者、認知症介護指導者修了者が在籍しており、認知症介護における支援など多角的視点からの支援に心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、垂水市の中心地の海沿いに、同法人の小規模多機能ホームや「グループホームまごころ」に隣接して平成16年に開設されており、3事業所は日頃から情報を共有し、緊急時や災害時の協力体制を築いている。周辺にはスーパーや個人住宅が立ち並び、少し離れて市役所や小・中学校、高校、郵便局、金融機関、商店等があり、利便性は良い。法人母体の医療機関も車で5分程で、日常的に連携を密にして利用者の診療や健康の維持に努めている。

開設以来、地域との交流を大切に取り組んでおり、自治会に加入し円滑に交流する関係を築いているが、コロナ禍に配慮して現在は、外出やボランティア、ホームの行事への地域の人の参加等の交流は控えている。高齢者福祉や認知症に関する住民からの相談には専門性を活かして助言し、認知症カフェの実施で認知症ケアの啓発に努めている。

ホームの理念に「その人らしく喜びと生きがいのある暮らし」を掲げ、利用者の尊厳や人格を大切にしながら、利用者の思いの汲み取りに努め、利用者の残存機能や習慣等にも配慮した利用者主体のケアに日々取り組んでいる。高齢化や認知症が進行しても笑顔と生きがいのある生活となるように、趣味や家事等の取り組みや不穏な利用者には自宅周辺にドライブして気持ちの安定を図るなど、利用者毎の思いに沿って個別の支援にも努めている。

管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、業務の中やケア会議等で意向や要望を出し合い、個人面談も行って業務やサービスの改善を図っている。管理者は、計画的な研修の実施やケアへの助言・指導に努め、勤務シフトには休暇の取得や個人的事情にも配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。法人による給与や手当等の体制が確立され、外部研修の受講や資格取得時の経費の助成制度、育児休暇や介護休暇等の取得も促進されて職員のモチベーションに繋がっており、定着率も良い。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員はもちろんのこと、入居者やそのご家族にも共有できるよう意識している。言葉は一つでもお一人お一人の思いやニーズは異なることを意識しながら、支援に繋げている。	開設時に掲げたホームの理念「ゆったり、楽しく、自由に、自分らしく暮らせる環境を目指す」をホールに掲示して周知を図り、ケア会議や申し送り等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入や清掃活動への参加を行っている。また認知症カフェやサロンへの参加を行い、事業所の普及活動を行っている。	町内会に加入し、日常的に交流する良好な関係を築いているが、現在はコロナ禍に配慮して買い物やボランティア、ホームの行事への家族や住民の参加等の交流は自粛している。認知症カフェの実施や住民から寄せられる認知症ケア等の相談には丁寧に助言して、認知症の理解の啓発に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症サポーター養成講座、認知症カフェを地域住民に行い、認知症の普及活動に取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、職員の状況、事業所の取り組みを報告し、また事業所の問題などがあった場合は、行政担当、民生委員の方から意見を頂き、問題解決に取り組んでいる。	会議は、家族、民生委員、市担当者等が出席して隔月毎に開催しているが、新型コロナウイルスの感染状況によっては一堂に会することは控えて書面での会議に変更している。利用者の状況や行事、感染症対応等を議題に協議を行い、寄せられた意見はケア会議等で検討して改善を図っており、民生委員からは地域の情報も寄せられている	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に窓口足を運ぶようにしている。また行政担当の方も事業所に足を運んで下さるなど、互いの協力体制を構築している。	市の担当者とは、介護保険の更新や各種制度の申請及び報告、感染症予防に関連する協議等を窓口や電話等で行い指導や助言を貰っている。また、市担当者も随時来訪して、情報を提供して下さる等、日頃から協力関係を築いている。市主催のリモートによる会議や研修にも参加し、隣接の同法人の事業所とも情報の共有や意見交換で運営やサービスの向上を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	三ヶ月に一度以上身体拘束適正化検討委員会を職員全体で開催し、身体拘束への理解や知識向上をはかり、安易な身体拘束が起らないように取り組んでいる。	身体拘束や高齢者虐待の防止については運営規定や利用契約書に明記し、計画的な研修の実施で認識を共有している。適正化を図る身体拘束適正化委員会を開催し、カンファレンス等でケアの確認に務め、拘束の無いケアに取り組んでおり、現在、センサーマット等の使用も無い。昼間は施錠しないで、外出したがる利用者には対話や寄り添いに務めて気持ちの安定を図り、不適切な発言を見かけた時は、その都度、職員間で注意や助言し合うなど、日頃から改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について正しく理解するよう、定期的に研修や勉強会に参加し虐待防止の徹底に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度等について学ぶ機会を設け、実際に現在入居されているひとりの利用者様は成年後見制度を利用している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容や重要事項の説明を十分に行うと共に、リスクや今後予測されることなどを十分に説明しながら、ご家族の些細な疑問にも丁寧に話し合っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	三ヶ月に一回の広報紙をご家族に郵送し現在の様子をお知らせしているが、コロナの為会議等をする場がなかなか設けられないため、毎月の電話連絡及び意見ポストを設置している	利用者や家族には、日頃から意見を出しやすように配慮している。重度化で発語が困難な利用者もいるが、日常の会話や表情、仕草等で思いを汲み取り、また、家族からの意見、要望等は面会（コロナ禍により窓越しでタブレット等も併用して実施）や電話、手紙等で把握している。家族会やホームの行事への家族参加は自粛中で面談の機会が少なくなっているが、担当職員による電話での「状況報告」や「ひまわり苑だより」で実状を伝え意見を貰うように努めており、出された意見要望はケア会議等で検討して改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム全体の会議やユニット会議で職員に意見を聞いている。個別には2～3ヶ月に1回話を聞いている。	管理者及び職員は日頃からコミュニケーションに努め、なんでも話せる信頼関係と協力体制を築いている。日頃の業務の中や申し送り、ユニット会議、ケア会議時に意見や要望を出し合い、また年3回、個別面談も行つて改善を図るなど働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。管理者はケアに対する助言・指導や研修の実施、勤務シフトに休暇の取得や個人的事情にも配慮している。法人は介護職員初任者研修や実務者研修の実施機関になっておりスキルアップに取り組みやすい環境で、受講に要する経費の助成制度も整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を基に、実績に対してしっかり反映している。また個人のキャリアアップも支援できるよう様々な研修参加、奨学助成も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育研修委員会が年間のスケジュールをたて、それに沿って様々な研修を行うことでサービスの質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が実施する介護職員向けの研修に参加し、他事業所との研修も行っていたが、今現在はコロナ感染の状況から実施できていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様やご家族が不安に思っていることがあれば傾聴し、安心した関係性を築くことに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス前に必ず事業所に来所して頂き、見学して頂きながら事業所の意見、ご家族の意見を言いながら関係構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医師からの情報提供書や看護師による健康チェック等を通じ意見をもらったり、ご家族と話す場を設ける事で必要としているサービスを見極めるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	視聴したいテレビや食事の希望を聞くなど入居者様に尋ねながらお互いの意見をもとに決めたりしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の為面会等おこなえない場合もあったが、窓越し面会や電話等でご家族と交流できるように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブの際、自宅や自分が大切に育ててきた畑などを希望に添って訪れている。	職員は利用者毎の馴染みの情報を共有しており、買い物や一時帰宅、通院、外食等を家族の協力も得ながら支援してきているが、現在はコロナ禍に配慮して外出や外食、外泊等は控えている。体調や感染対策に配慮しながら、少人数でのドライブを実施して自宅周辺や馴染みの街並み、季節の花等を車窓から楽しんでいる。家族との窓越しの面会や電話、手紙の取り次ぎ、担当職員による毎月の状況報告、園便りの送付等に取り組んで関係の継続に務めている。個人用の携帯電話を所有している利用者は、日常的に家族と会話出来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクなど入居者様全体の参加を呼び掛け、お互いに声かけや応援をし馴染みの関係が持てるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後でも気兼ねなく相談、助言等できるよう関係保持に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のさりげない言葉など職員間で共有しながらご本人のニーズ把握に努めている。	コミュニケーションが難しくなっている利用者もいるが、日頃の会話や仕草、独自のサイン等から意向の汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら、その人らしい安全で生きがいのある暮らしになるように取り組んでいる。利用者の意向に沿って縫い物やテレビの視聴、ぬり絵、パズル、花壇や菜園での作業や収穫、テーブル拭き等の取り組みを体調や残存能力に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には評価や感謝の言葉を添えて自己肯定感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から話を聞いてその方の生活歴等を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックから始め血圧検温などより身体状況の把握、本人への気分不良の確認を行い、安静等必要か診察が必要かなど判断している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居により環境が変わる為、できるだけこれまでの本人の生活と大きな隔たりがないよう月二回の検討会やミーティング時意見を出すよう心がけている	日頃の関わりの中や電話等で利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やケア会議及びモニタリング時の職員の意見を基に残存機能や習慣、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。計画は家族にも説明して了解を得ており、ケアの実施状況はバイタルチェック表や業務日誌で共有している。利用者の状況変化時は実態に沿って計画を変更して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の介護記録を記入し、職員が必ず目を通すようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	問題があれば医師や看護師、薬剤師栄養士相談連携を図り、よりよいサービスの提供に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住み慣れた地元で活躍しているボランティアの方々の受け入れ等を通じて楽しく生活を送れるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご本人やご家族の希望に添って決めている。ニーズを十分把握した上で、主治医との連携も行っている。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、殆どの利用者が協力医療機関を主治医としている。定期的な訪問診療（月2回）や通院を実施し、他科受診は家族と協力して通院している。看護職員2人を中心に日頃から衛生や健康管理を徹底し、受診結果や体調の変動等は家族にも密に報告して、利用者及び家族の信頼と安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	些細なことでも看護師に報告を行い状況が悪化しないように連携を行っている。また介護職員の不安を少しでも軽減できるように看護師による勉強会も定期的に行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時にできるだけ早い情報共有に努めている。入院中もソーシャルワーカーと密に情報共有を行い、ご本人、ご家族に不安を与えないよう連携している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始前に重度化や看取りについて話す場を設けている。その際に事前に意志を確認し必要の際には随時話す場を設けるよう努めている	重度化や見取りの対応については指針を整備しており、利用者及び家族に説明して同意書を貰っている。利用者の状態変化に応じて話し合いを実施し、可能な限り希望に沿って悔いのないケアをチーム体制で行っている。毎年1～3件の見取りを実施しており、見取り終了後は振り返りや意見交換を行って、スキルアップと不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な消防訓練、AED等の使用訓練、実践などを行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に最低2回は避難訓練を実施している。海沿いということもあり津波に対する避難など、試行錯誤を行った訓練を行っている。	夜間を想定した火災発生時の災害訓練を年2回（消防署立ち合いはコロナ禍により得られていない）隣接の3事業所合同で実施し、通報や消火器の取扱いも研修している。日常的に避難経路や消火器の設置場所等の確認を行い、災害の報道も話題にして防災への認識を共有している。スプリンクラーや火災報知器が設置され、カセットコンロやラジオ、懐中電灯、5日分の食料や飲料水を備蓄している。近隣の住民や隣接の同法人の事業所、Aコープ、葬祭場との災害時の協力体制も構築している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に対して「ちゃん」つけでの呼びかけをしない様また、スタッフそれぞれの対応で信頼を失うことがないように注意している	人格や誇りを損ねる事の無いように、研修の実施やケアの振り返り、意見交換等で認識を共有し、利用者の生活歴や習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。ホームの浴室やトイレ、居室はプライバシー保護に配慮した構造になっており、排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや優しい言葉遣いを心がけ、入室時は声掛けやノックを励行するなど礼節を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴のタイミングや着替えの選ぶのも自己決定できるように声かけのしかたも工夫し、御本人の決定を尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールをもとに、御本人のペースに合わせ声かけし支援するようにしている。レクも強制ではなく興味のあるものに参加してもらっている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のこだわりを十分に尊重しながら支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の台拭きやお茶配りなど手伝って頂くこともある。また食後の下膳など無理のない程度に手伝って頂きながら、ご本人の役割を持って頂いている。	利用者の好みや形態、季節感、盛り付け等に配慮し、昼食と夕食の副菜は法人本部の医療機関の厨房から届けられている。お節や節句、敬老会等の行事食は外注を止めてホームで調理し、誕生日やクリスマスのケーキや手作りのおやつ（ふかし芋等）、ビヤガーデン風に設営しての焼き鳥やおにぎり、飲み物の提供、菜園で収穫した野菜を調理するなど食事が楽しいものとなるように工夫しており、利用者も野菜の下処理やテーブル拭き等を楽しみながら行っている。	

12

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量も個人別で対応し水分などのお茶だけでなくジュースや甘くした物も出し水分摂取をしてもらっている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後に口腔ケアを実施。一人ひとりの口腔内を確認しケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレでの排泄を促し、入居者様の排泄パターンをしっかりと把握するようにしている	各利用者の排泄パターンを把握し、身体の状態や習慣に配慮した声掛けや介助で、可能な限りトイレでの排泄を、複数介助も取り入れながら支援している。利用者の状況により夜間のみポータブルトイレを使用したり、立位が困難な利用者はオムツを使用している。利用者の状態に応じた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に努め、便秘の予防には食事や水分の摂取量、運動等に配慮し、主治医にも相談しながら対処している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を個々で記録したり、運動を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の同意を原則に実施している。日中の入浴に違和感があることを十分に理解し、夕方の入浴の希望があれば安全に十分配慮して実施している。	基本週3回、個浴での入浴を支援しているが、必要時には、その都度、シャワー浴等で清潔を保っている。連日の入浴や温度、時間、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、ゆず湯も取り入れて、ゆっくり楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や軟膏塗布等を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、日時の変更や声かけ等を工夫し、利用者自身の意欲を汲み取りながら支援している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠時は日中でもベッドで休んでいただくようにしている。着衣や布団が汚染している時はその都度速やかに交換している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間間隔の往診にあわせて、直接薬剤師がが外向き、処方の説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日交代で食事のあいさつ当番をしていただいている。食べ物の好き嫌いを把握し提供している。またレクでは昔の話を聞いたり会話が弾むよう声かけしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	スタッフの人数に余裕があればドライブに出掛けている	感染予防対策を徹底し、利用者の状況に応じて車椅子や歩行介助しながら園庭での散歩や家族との通院、少人数でのドライブで自宅近辺や季節の花、馴染みの風景を楽しむ等、工夫して外出しているが、一時帰宅や買い物、外泊、外食、墓参等は控えている。地域のイベントの殆んどが中止され、ホームの外出行事も十分には実施できない状況が続いているため、室内での軽い体操やゲーム、音楽・ビデオの視聴等、レクレーションの工夫でリフレッシュに努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持においては、本人、そのご家族の同意を基に行っている。使用に関しては、ご本人の希望があれば、スタッフ付き添いの基、買い物に出かけて買い物ができる体制は整えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は基本的に自由に使用ができるようにしている。手紙も本人の希望があれば、支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調環境を管理したり、季節に応じた展示物や設営に力を入れ入居者様が気持ちよく四季を感じることができるように工夫している	リビングは、明るく余裕あるスペースが確保され、テーブルやソファ、テレビ等が動線等に配慮して設置されており、利用者の作品や行事の写真、季節感のある活花等が随所に飾られている。また、窓からは桜島や菜園が眺められ夏の花火大会もホームから楽しめている。寛げる和室もあり、厨房からは調理の音や臭いが伝わるなど和やかな雰囲気になっており、清掃や空調、整理整頓を徹底し、感染症予防の大きなパーテーションや手指消毒剤等も設置しており、不快に感じる音や臭いもなく、利用者は四季を感じながら快適に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2～3人掛けのソファを設置している。テレビなども個別に見ることができるように工夫している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に家族の写真等を置いたり自分の好きな家具を置いたり居心地の良いうに支援している	洋風の居室にはベッド、エアコン、タンス、ナースコールが備えられ、廊下には洗面台が2部屋に1か所ずつ設置されている。腰高窓の構造で明るく余裕ある広さが確保されており、トイレ付きも3室ある。利用者は自宅で愛用していた寝具やテレビや家族写真、ラジオ、小物等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いの額等も飾って、その人らしい落ち着いた雰囲気の居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分のお部屋が一目でわかるように名札も見やすいようにしている。緊急時に出口が分かりやすいように壁に張り紙をしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない